

送辞

穏やかな日差し。あたたかく和らいだ空
気。草花が芽吹く新たな風。幸せに包ま
れた春の中で、その全てが皆様の卒業を祝
福しているかのようです。

三年生の皆様、ご卒業誠におめでとうござ
います。在校生一同、心よりお祝い申し
上げます。

今、先輩方の晴れやかな姿を前にする
と、この高志高校で先輩方と過ごした日々
が思い起こされます。部活動、学校祭、委
員会活動など、日々の生活から大きな行
事まで、先輩方は私達在校生を支えてく
ださり、また、大いに活躍されました。
優しく、そして丁寧に私達を導いてくださ
り、高志高生としてどうあるべきか教えて

下さいましたこと、感謝の気持ちでいっぱい
です。

今年度も新型コロナ感染症の影響で思う
通りに行かないことが多く、苦しい場面も
ありました。が、その中でも諦めずに道を探
し、切り開いてきた先輩方の力強い背中・
凛とした眼差しが印象に残っています。学
校祭では厳しい条件下にあったにもかかわ
らず常に笑顔でリーダーシップを取ってく
ださり、緻密な計画と準備でコロナ禍を思
わせないほど素晴らしいものを創り上げら
れました。部活動においては、中止となって
しまった大会もありましたが、悲観的にな
ることなくそれまで積み上げてこられた全
てを出し切ろうとする前向きな姿に心を
打たれました。先輩方は常に我々在校生
の目標であり、道標であり、憧れでした。
先輩方のように立派な高志高生になれる
か不安はありますが、まさに「克己・創造・

敬愛」を体現してこられた姿を胸に、我々在校生も精進してまいります。

「熟田津に船乗りせむと月待てば潮もかなひぬ今は漕ぎ出でな」万葉集より、額田王が詠んだ和歌です。船出の機会を待っている、月が出て潮も満ち、まさに旅立つ絶好の機会だ、今こそ大海原へと漕ぎ出そう、という意味が込められています。この学び舎を出て、卒業される皆様がこれから進む道はそれぞれ異なり、様々な苦難が待ち受けていることでしょう。しかし、それ以上に素晴らしい未来がその先に輝いています。今日こそが、皆様が旅立つ絶好の機会です。まだ見ぬ景色を探して、新しい世界に向けて思い切り漕ぎ出してください。

最後となりましたが、卒業生の皆様のご健康と益々のご活躍を心からお祈りし、送辞とさせていただきます。

令和四年三月十五日

在校生代表

細野あまね